

Q 6 : 学校支援ボランティアコーディネーターとの連携について知りたい。

A : 学校と家庭・地域の連携を進めていく上で、学校支援ボランティアコーディネーター（以下、ここではコーディネーターと表記する。）の配置、そしてコーディネーターとの協働はとても重要になる。どのように連携を進めていくのか、段階を追って以下に示すので、参考にしてほしい。

1 コーディネーターはどんな仕事をする人なのか。

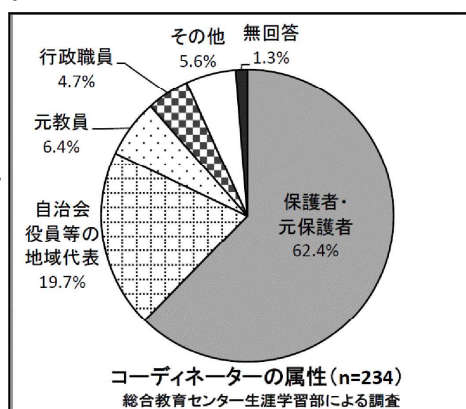
一言で言えば、学校と地域をつなぐキーパーソン。

活動内容としては、地域の人材等の情報の収集、管理と同時に、学校のニーズ把握が挙げられる。更には、学校の依頼に応じてボランティアの募集をしたり、学校にボランティアを紹介したりする橋渡し役として期待される。

2 コーディネーターはどんな人が選ばれているのか。

コーディネーターを依頼している方の属性としては、保護者・元保護者が6割以上を占めている。以下、自治会役員等の地域代表が約2割、そして元教員や行政職員などが続くことから、コーディネーターには、学校をよく知る立場の方が選ばれる場合がほとんどであることが言える。

コーディネーターをまだ配置していない学校においては、これらを参考に、学校や地域の実情に詳しく、そして学校の応援団になってくれる方の中から選ぶと良い。



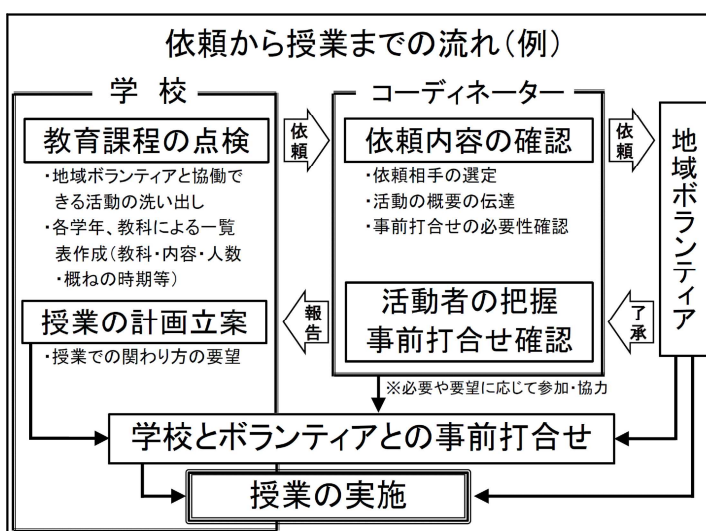
3 コーディネーターを依頼したい人はいるが、本人が不安を覚えている。

学校でコーディネーターを依頼したい方がいる時は、教育事務所が主催している「ボランティアコーディネーター養成研修会」への参加をぜひ勧めしてほしい。コーディネーターとしての基本が身につく研修内容としており、研修修了後の実践につなげることが期待できる。

4 コーディネートを進めるには、具体的にどのようにすれば良いか。

コーディネーターは決まったけれども、うまく機能するにはどのようにすればよいか。要は、マネジメントをいかに行うかが一番の課題と言える。まずは、地域連携教員を中心に、学校側がコーディネートの流れについて全体像を把握し、見通しを持つことが大切である。右に、依頼から授業までの流れについて例を示す。

そして、一連の流れを円滑に進めるために、コーディネーターが行うとよいマネジメントの例を以下に4点挙げる。



(1) 連携活動の計画づくり

- ・地域連携教員が作成した学校支援年間計画を共有する。
- ・ボランティアを集めて「連絡会議」を開催する。
- ・学校に支援に入るボランティアの予定を伝え、大まかな日程調整を行う。

(2) 充実した連携活動を行うための助言

- ・活動の目的などを把握し、ボランティアに伝える。
- ・支援した際の、児童生徒の様子を教員に知らせる。

(3) ボランティア活動支援

- ・ボランティア室の整備や運営など、ボランティアを支援する。
- ・時間変更やボランティアの欠席など、突然の状況に対応する。

(4) 連携活動の評価

- ・ボランティア及び教員相互との「反省会議」を実施し、振り返りを行う。
- ・毎回の反省を記録し、改善案の検討や次回の活動への反映に生かす。



5 コーディネーターとの連携を進めるポイントには、どのようなものがあるか。

(1) 連絡に関するポイント

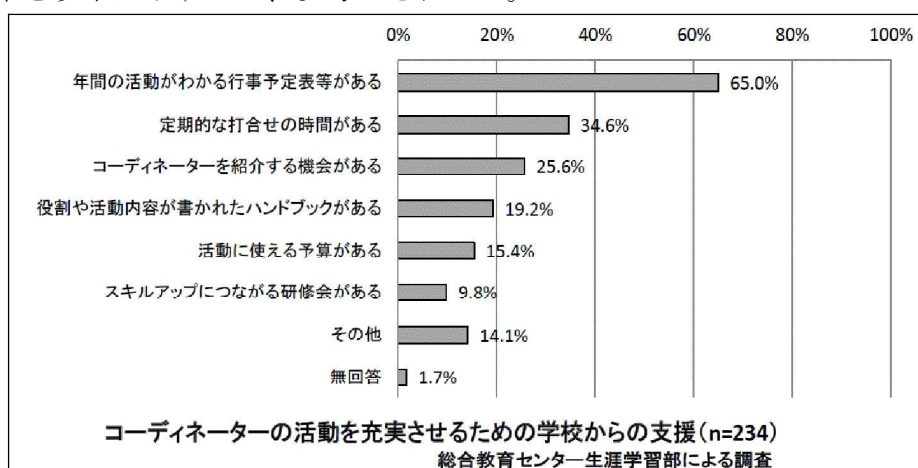
学校側の窓口が誰になるのかを明確にしておくことが大切。また、担当が連絡を比較的取りやすい曜日や時間帯について、コーディネーターに伝えておくとうい。お互いの時間の都合がなかなか合わないようであれば、時間を合わせなくてもよいメールやファックスでのやりとりが有効となる。文字に残すことにより、連絡の行き違いを防ぐ効果もある。

(2) 周知に関するポイント

コーディネーターの存在を保護者や地域に知ってもらうことは、連携を進める上でとても重要になる。各種たよりやホームページ等でコーディネーターを紹介することにより、保護者や地域住民へのコーディネーターからのボランティア依頼時の敷居を下げるのが期待できる。併せて、コーディネートの内容を保護者や地域に知らせることにより、活動への理解が深まり、今後の活動での協力につながることも期待できる。

(3) 活動の充実に向けたポイント

コーディネーターに、学校の様子をより理解してもらうことが大切。年間予定はもちろん、より細かい情報が載っている行事予定や各種たよりを必要に応じてコーディネーターに提供することが、コーディネーターの学校理解を深めることにつながる。また、コーディネーターが回答した、学校からの支援に関する調査結果を以下に示すので、参考とされたい。



学校とコーディネーターとの連携を進めるために、芳賀教育事務所ふれあい学習課では「地域とともにある学校づくり～学校支援ボランティアハンドブック～」を発行している。本書の活用もぜひお願いしたい。

【参考資料】

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| ・地域とともにある学校づくり～学校支援ボランティアハンドブック～ | H28.3ふれあい学習課 |
| ・「学校支援のためのコーディネーターに関する調査研究」報告書 | H29.1総教セ |